

# 委員会の審査報告 3月定例会

## 一般廃棄物最終処分場用地取得価格の適正化を求める附帯決議

3月定例会市議会で各委員会に付託された議案は、審査の結果、いずれも原案どおり可決すべきと決定しました。

各委員会での主な内容は次のとおりです。平成22年度一般会計予算は、各常任委員会を単位とした予算審査特別委員会分科会で審査しました。

なお、請願、陳情の審査結果は12ページに掲載しています。

### 産業水道委員会

当委員会で審査した案件は、議案14件、請願1件、陳情1件（継続審査分）です。

◎平成22年度国民宿舎事業費特別会計予算

問 国民宿舎サンロード吉備路の予算が減少している原因は何か。

答 昨年末のインフルエンザによるキャンセルが多く出て事業収入が減ったことが事

業費減の一大要因である。

◎請願・陳情  
請願1件、継続審査の陳情1件については、いずれも継続審査としました。

◎平成22年度一般会計予算

問 桃の選果機械の補助金はどのようなものか。

答 農協が事業主体となつて山手の選果場に導入するもの。総事業費の2分の1が国の補助で、市の補助は10分の1。桃が糖度別などに自動選

別され、選果の効率を上げることが出来る機械である。

◎問 農業公社の全市的な事業拡大見通し、経営状態を聞きたい。

◎答 農業公社による土地の貸借、農地の流動化は、川西地区、山手地区以外にも市内に広がっている。現段階では、市からの補助金で採算がとれており、今後も補助金が増えることのないようにしていきたい。

### 建設消防委員会

当委員会で審査した案件は、議案8件です。

◎平成22年度総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計予算

問 財源となるまちづくり交付金に替わる補助金の確保等に努力すべきではないか。

◎答 この交付金は、制度改正で一括交付金として再構成

されるが、国は継続事業の財源は維持したい意向。今後は国の動向を見ながら、本事業の確実な推進に努力したい。

◎平成22年度一般会計予算

問 土木担当員による小規模工事等の地域密着予算の考え方はどうか。

◎答 土木担当員の報償費、小規模工事原材料費は前年同額である。

◎問 倉敷船穂真備総社線建

設促進期成会の活動状況と循環路線の実現に向けた取り組みはどうか。

◎答 合併により他と合同で要望活動をしている。倉敷側の橋梁が施工中であり、倉敷市と協議をして循環路線の早期実現を図っていきたい。

◎問 消防ポンプ積載車等の更新の考え方はどうか。

◎答 20年以上経過したものを主に更新と考えている。

### 厚生委員会

当委員会で審査した案件は、議案8件、請願5件（うち継続審査分3件）、陳情3件です。

◎平成21年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

問 基金の残高はどのようになるのか。

◎答 基金残高は約4億6千万円となる見込み。平成23年度までは大丈夫だが、今後は

検討する必要がある。

◎平成22年度後期高齢者医療特別会計予算

問 後期高齢者医療連合で医療費通知の誤記載があったが、本市への影響はないか。

◎答 医療費通知の誤記載の過失割合は業者が8割、国保団体連合会が2割の見込み。本市も保険者であり、2割分を負担する見込みである。

◎請願・陳情

置事業や各施設の改修、改築を予定している。

◎請願・陳情  
請願1件を継続審査、陳情2件を採択、1件を趣旨採択としました。

◎平成22年度一般会計予算

問 適正な職員数を確保するための計画はどうなっているか。

◎答 職員数は563人体制を維持する考えである。

◎問 教育施設の修繕予算が

請願5件を継続審査、陳情1件を採択、1件を趣旨採択しました。「市営葬祭場改修に伴う葬儀場設置に関する陳情書」は、民間事業者の葬祭価格、斎場周辺の市民との協議及び火葬件数の増加等の問題から不採択としました。

◎平成22年度一般会計予算

問 自治組織活性化支援事業の制度をもっと市民に活用できるように見直しはできないか。

◎答 減額されているが、なぜか。県の緊急雇用対策で雇用している教育施設環境美化整備員に修繕をお願いしているためである。

◎問 幼稚園の正規職員より非正規職員の数が多くなっている状態で、預かり保育の実施が可能なのか。

◎答 預かり保育を試行して多くの反省点が出てくると思つている。正規職員の不足問題には最善の努力をしたい。

### 一般会計予算審査特別委員会

当委員会で審査した平成22年度一般会計当初予算は、各分科会での詳細審査の結果を踏まえて、起立多数により原案のとおり可決すべきと決定しました。

なお、新一般廃棄物最終処分場の設計等委託料関連で、処分場用地取得価格の適正化を求める附帯決議を一般会計予算に付しました。